

2021年度（令和3年度）
大学院薬食生命科学総合学府
学生募集要項

薬科学専攻
【博士前期課程】

出願資格審査

申請期間 〔一次募集〕 2020年 6月 5日（金）～ 6月11日（木）16:00【必着】
〔二次募集〕 2020年12月11日（金）～12月17日（木）16:00【必着】
※過去に出願資格審査により出願を認められた者も改めて出願資格審査を受ける必要があります。

出願期間 〔一次募集〕 2020年 7月 3日（金）～ 7月 9日（木）15:00【必着】
〔二次募集〕 2021年 1月27日（水）～ 2月 2日（火）15:00【必着】
※二次募集はTOEFL iBT®本人宛てスコア「Examinee Score Report（公式スコアレポート）」
【原本】またはTOEIC® L&R 公開テスト「Official Score Certificate（公式認定証）」【原本】
の提出が必要です。試験実施日等の詳細は試験実施団体のホームページを参照し、出願
に間に合うように原本を取得してください。

試験日 〔一次募集〕 2020年 8月21日（金）
〔二次募集〕 2021年 3月 2日（火）

合格発表 〔一次募集〕 2020年 9月 4日（金）10:00以降
〔二次募集〕 2021年 3月 5日（金）10:00以降

静岡県立大学

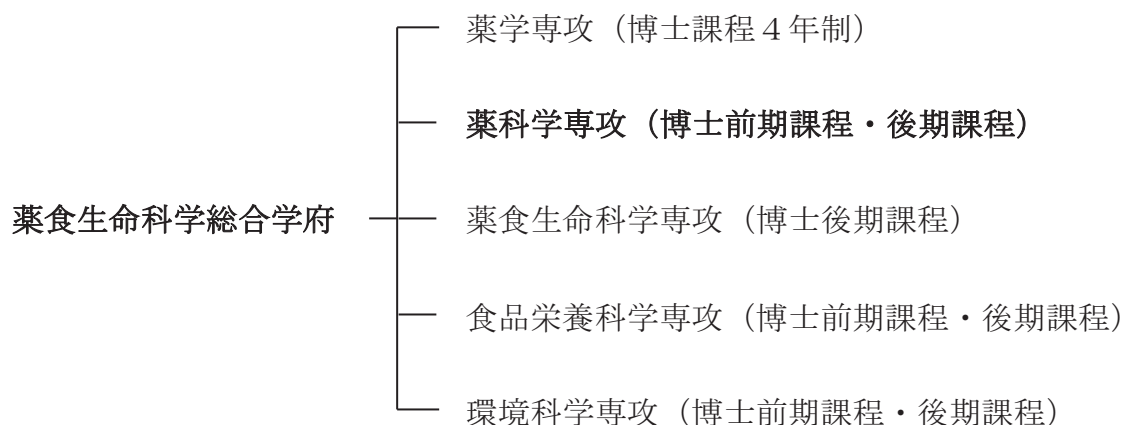
<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

※今後、新型コロナウイルスの感染状況により記載内容に変更が生じた場合は、ホームページにて周知します。

【薬食生命科学総合学府 薬科学専攻】

本学府は、薬学部および、食品栄養科学部（平成26年度より環境科学研究所教員を併合）の大学院教育組織として、平成24年度に統合・開設されました。薬と食を基盤とした最先端生命科学を究め、健康寿命の延伸と安全・安心な環境の創出に貢献できる研究者や高度専門技術者を育成することを目的とします。

本学府は5専攻から構成されますが、このうち、薬科学専攻は、薬学の全ての分野において高水準の教育・研究活動を行い、物質科学および生命科学の横断的・総合的研究能力を有する先端的科学研究の担い手となる科学者・技術者および高い専門性を活かした行政従事者、薬学関係の教育・研究に携わる教員等を輩出します。



【学府の理念、目標】

健康増進や病気の予防・治療による健康長寿の実現には、適切な医薬品や食品の開発・選択と、医薬品の適正使用が欠かせません。薬食生命科学総合学府では、健康維持の要因あるいは疾病の発症・進展のメカニズムを生命科学や物質科学の観点から解明し、健康長寿社会の構築に貢献する意欲があり、そのための努力を惜しまない学生を求めています。薬学、食品栄養科学、環境科学等の最先端科学を通して国際的に貢献できる人材を養成します。

【求める学生像】

薬、食品、栄養あるいは環境に関する科学に貢献する意欲のある学生を幅広く求めます。そのためには、

- 1) 薬、食品、栄養あるいは環境に関する科学の習得と研究に必要な基礎学力
- 2) 国際的な科学コミュニティーへの参加に必要な英語能力が必要です。

【学位授与の方針（ディプロマポリシー）】

薬科学専攻では、創薬科学及び生命薬学の研究領域でグローバルに貢献できる人材の育成を教育目標として掲げており、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に、修士（薬科学）の学位を授与します。

1. 高い国際対話能力
 - ・グローバルに活躍できる情報収集能力を有し、それに必要なコミュニケーション能力及び国際感覚を身につけている。
2. 倫理観
 - ・生命の尊厳を守るための強い倫理観を身につけている。
 - ・研究活動の責任・使命を理解し、健全な科学倫理観を身につけている。
3. 高度な知識と技能
 - ・創薬・生命薬学研究に必要な薬学専門領域に関する知識・技能を身につけている。
 - ・薬学的基礎知識・技能を基盤とし、それらを活用・応用する能力を身につけている。
4. 独創性と問題解決能力
 - ・創薬・生命薬学研究者に求められる独創性や問題解決の基礎的な能力を身につけている。
 - ・独創性と問題解決能力を涵養し、創薬・生命薬学研究を自ら計画・遂行できる能力を身につけている。
5. 自己研鑽
 - ・創薬・生命科学に関わる研究者として、常に自己を評価・省察し、さらに自らを高める意欲と能力を身につけている。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）】

創薬、生命薬学研究の基盤となる知識と技能を統合的に捉える広い視野と論理的な考察力を醸成し、創薬・生命薬学研究を担う創造力豊かな研究者や高度専門職業人を養成するために、以下のようなカリキュラムを編成しています。

1. 創薬及び生命薬学関連領域の講義科目の履修により、広範な知識を統合し、独創的な研究を創成する力を養う。
2. 薬科学の演習科目及び実験科目の履修により、優れた創薬及び生命薬学研究能力ならびに問題解決能力を養う。
3. 語学力とコミュニケーション能力を涵養し、グローバル・リテラシーの育成をはかる。

【入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）】

創薬、生命薬学研究の基盤となる知識と技能を涵養し、創薬・生命薬学研究を担う研究者や高度専門職業人を目指す次のような人を求めています。

1. 健全な倫理観を備え、薬学人として社会に貢献したいという強い信念と情熱を持つ人
2. 大学で習得した薬科学の基礎知識や技能を基盤として、それらをさらに発展させたいという学習意欲と科学的探求心を有している人
3. 広い視野と論理的な考察力を有し、創薬研究や生命薬学研究に高い集中力で忍耐強く取り組む人

1 募集人員及び修業年限

専攻	募集人員		標準修業年限
	一次	二次	
薬科学専攻	30名	若干名	2年

※ 募集人員は、社会人特別選抜（若干名）及び外国人特別選抜（若干名）を含みます。

※ 講座の「主な研究分野と研究題目」については10・11ページを参照してください。

詳細については、薬学研究院ホームページを参照してください。

URL : <https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

※ 一次募集入学試験で、入学定員に達した場合は、二次募集を行わないことがあります。事前に本学ホームページでご確認ください。

2 出願資格

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
(2021年3月卒業見込みの者を含む。)
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
(2021年3月までに授与される見込みの者を含む。)
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
(2021年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（2021年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、学校教育法施行規則第155条第1項第4号の規定に基づき文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者（2021年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定めた基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（2021年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (7) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号：水産大学校、気象大学校、防衛大学校、防衛医科大学校、海上保安大学校を卒業した者など）
- (8) 本学学長が、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
(2021年3月までに3年以上の在学、15年の課程修了が見込まれる者を含む。)
※ 「所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者」とは修得単位124単位以上（2021年3月までの見込みを含む。）、優以上が2/3以上で評定平均が4.5以上（優以上・S・A 5点、良・B 4点、可・C 3点）の者をいいます。
※中国の3年制大学（専科・職業学院等）のみ卒業した者は(8)には該当しません。
- (9) 本学学長が、大学院の個別入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2021年3月31日までに22歳に達する者
- (10) その他本学学長が学校教育法第83条に定める大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3 選抜区分

《一般選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当する者

※2の出願資格(3)～(10)に該当する者は、4の出願資格審査が必要です。

《社会人特別選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者は、社会人特別選抜として出願できます。

① 社会人として実務経験を3年以上有する者

② ①のほか、企業、研究機関等に勤務する者で、当該勤務先の承認を得ているもの

③ その他学長が特に認める者

※2の出願資格(3)～(10)に該当する者は、4の出願資格審査が必要です。

《外国人特別選抜》

2の出願資格(3)～(10)のいずれかに該当し、かつ、日本国籍を有しない者で、教育を受ける目的をもって入国した者または入国する者は、外国人特別選抜として出願できます。

※ 外国人特別選抜として出願する者は、4の出願資格審査が必要です。

4 出願資格審査

2の出願資格(3)～(10)に該当する者は、出願資格の審査を行いますので、一次募集、二次募集それぞれの申請期間に、指定する提出書類を郵送または持参により学生部入試室まで提出してください。過去に出願資格審査により出願を認められた者も改めて出願資格審査を受ける必要があります。期日までに提出がない場合には、いかなる理由があっても出願できませんのでご注意ください。

審査結果については、後日、申請書の住所あてに郵送にて通知します。出願期間の1週間前になっても到着しない場合は入試室へ連絡してください。

(1) 申請受付期間

【一次募集】 2020年 6月 5日(金)～ 6月11日(木)

【二次募集】 2020年12月11日(金)～12月17日(木)

※窓口受付時間：平日9:00～12:00、13:00～16:00

※郵送・持参を問わず、最終日の16:00までに必着。

出願資格審査書類等がそろっていることを十分確認の上、角形2号の封筒(縦332mm×横240mm)に該当する書類を入れ、学生部入試室あて提出してください(封筒の表書きには「大学院薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士前期課程 出願資格審査書類在中」と朱書してください)。

郵送の場合は、簡易書留速達郵便により提出してください(期限厳守)。

(2) 提出書類

区分	提出書類	説明 (「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること)
1) 出願資格(3) (外国人留学生等) a～eの全てを提出すること。	a 出願資格審査申請書	「所定の様式」を使用すること ◎申請に先立って、必ず志望講座主任教員に連絡をとること
	b 履歴書	「所定の様式」を使用すること 初等教育(小学校相当の学校入学時)からの学歴、職歴等を記入した志願者本人の履歴書を1部提出すること 履歴事項が多い場合は別紙を添付すること
2) 出願資格(4), (5) 出願資格を証明する書類は、入試室に確認すること。		
3) 出願資格(6), (7) a～eの全てを提出すること。	c 住民票 ※外国人留学生のみ	日本に在住している外国人は、市区町村長が発行する住民票(在留資格、在留期間が明示されているもの)を提出すること。
4) 出願資格(8) a～iの全てを提出すること。	d 卒業(見込)証明書 【原本】 *1 *2 *3 *4	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること。
5) 出願資格(9), (10) a～hの全てを提出すること。	e 成績証明書【原本】 *1 *2 *3 *4	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。
	f 研究歴・研究内容の要旨*1	A4判縦、様式任意(日本語または英語)
	g 研究論文目録 *1	A4判縦、様式任意(日本語または英語)
	h 研究論文 *1	「学位論文」の写し。ただし、学位論文がない者は、その他の研究論文
	i 推薦状	出願資格(8)で出願する者のみ提出 所属する学科長以上の推薦状(「公印」のあるものに限るが、書式は任意)

*1 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*2 外国人留学生等、外国の大学卒業(見込)の者で、d, eのいずれかまたは両方が提出できない場合は、出願資格を証明する書類(授与された証書等)の【原本】を提出してください。また、大学からの証明書発行が申請受付期間後になる等、提出書類の遅延のやむを得ない理由がある場合は、事前に入試室に相談し、

指示を受けてください。

- *3 d, e及び授与された証書等が日本語または英語以外で表記されている場合は「日本語訳または英語訳」を添付してください。
- *4 **外国人留学生等**、外国の大学卒業（見込）の者で、証明書が1部しか発行されない等の理由で**原本の返却を希望する場合は**、本学ホームページの募集要項ダウンロードページから「留学生の証明書【原本】返送方法について」を印刷し、手順に従って原本返送の申請をしてください。

5 出願受付期間

〔一次募集〕2020年7月 3日（金）から7月 9日（木）まで

〔二次募集〕2021年1月27日（水）から2月 2日（火）まで

※外国人で入国のためのビザを新規に取得しようとする者は、一次募集で受験することが望まれます。

※窓口受付時間：平日9：00～12：00、13：00～16：00（最終日は15：00まで）

※郵送・持参を問わず、最終日の15：00までに必着。早めの出願にご協力ください。

6 出願方法

出願書類等がそろっていることを十分確認の上、角形2号の封筒（縦332mm×横240mm）に該当する書類を入れ、**学生部入試室**あて提出してください（封筒の表書きには「**大学院薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士前期課程 出願書類在中**」と朱書してください。）。

郵送の場合は、**簡易書留速達郵便**により提出してください（期限厳守）。

7 出願書類

出願書類		説明（「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること）
a	入学願書	「所定の様式」を使用すること。 志望講座については、第3志望までを選んで記入することができる。 写真（脱帽・上半身・正面・4.0cm×3.0cmのもの）を 出願前3か月以内 に撮影したもの）を貼付すること。 ◎出願に先立って、志望研究室担当教員に必ず連絡をとること。
b	写 真 票	「所定の様式」を使用すること。 写真（脱帽・上半身・正面・4.0cm×3.0cmのもの）を 出願前3か月以内 に撮影したもの）を貼付すること。
c	卒業（見込）証明書 【原本】 *5 *6	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※既に事前審査で提出済みの者は再提出不要。
d	成績証明書【原本】 *5 *6	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。 ※既に事前審査で提出済みの者は再提出不要。
e	入学検定料	30,000 円 郵便局の 普通為替証書 に限る。 <u>購入後、何も記入しないこと。</u>
f	返信用封筒 （受験票送付用）	市販の長形3号の封筒または指定封筒に、学府名・住所・氏名・郵便番号を明記し、 534円分の切手を貼付 すること（海外への送付を希望する者は、EMSでの送付に必要な送料分の切手を同封すること）。所定の指定封筒の場合は、「様」を消さないこと。原則本人あてとする。 ※以下の日までに受験票が届かない場合には入試室まで連絡すること。 ・一次募集 2020年8月17日（月） ・二次募集 2021年2月25日（木）
g	住所票（合格通知受信用 あて名票）	「所定の様式」を使用すること。 学府名・住所（合格通知、入学関係書類を確実に受け取れる場所）・氏名・郵便番号を明記すること。「様」は消さないこと。原則本人あてとする。
h	TOEFL iBT®または TOEIC® L&R 公開テスト の成績【原本】 ※二次募集のみ *7 *8 *9 *10	・TOEFL iBT®の場合 試験主催者から本人に送付された「 Examinee Score Report 」（公式スコアレポート）を提出すること。 ・TOEIC® L&R 公開テストの場合 試験主催者から本人に送付された「 Official Score Certificate 」（公式認定証）を提出すること。 ※原本は受験票送付時に返却。2019年4月1日以降受験のスコアに限る。2019年3月31日以前受験のスコアやTOEIC® L&R IPテストのスコアは認めない。

*5 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*6 大学を複数卒業している者や修士の学位に相当する学位を有する（見込含む）者など、証明書が複数になる場合は、**事前**に入試室に相談し、指示を受けてください。

- *7 TOEFL iBTおよびTOEICはエデュケーショナル・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けまたその承認を得たものではありません。
- *8 TOEFL iBT®は、TOEFL iBT® テストのことで、インターネットを介して英語で実施されます。このテストは4つのセクション (Listening, Reading, Speaking, Writing) で構成され、テスト全体の解答時間はおおよそ3時間30分です。
TOEFL iBT®の詳細は、<https://www.ets.org/jp/toefl/ibt/about/>にてご確認ください。
- *9 TOEIC® L&R 公開テストは、リスニング (45分間・100問)、リーディング (75分間・100問) で構成され、合計2時間で200問に答えるマークシート方式の一斉客観テストです。TOEIC® L&R 公開テストの詳細は、<https://www.iibc-global.org/toEIC.html>にてご確認ください。
- *10 英語試験実施日等の詳細は試験実施団体のホームページを参照し、出願に間に合うように英語スコアを取得してください。英語試験受験からスコア取得 (試験実施団体から受験者宛にスコアが郵送される) まで、概ね3～8週間かかります。

◎出願資格(2)で出願する者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類		説明
a	学士の学位授与証明書	大学評価・学位授与機構が発行したもの
b	短期大学または高等専門学校 の専攻科の修了見込 証明書及び学士の学位授 与申請予定証明書	在籍する短期大学長または高等専門学校長の発行したもの (A4判縦 様式任意) ※学位規則第6条第1項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、出願資格(2) に該当する見込みのもの

※ a または b を提出してください。

◎社会人特別選抜で出願する者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類		説明
a	受験許可書	勤務先に在籍のまま入学を希望する者は、所属長または代表者が作成した受験許可書 宛名は「薬食生命科学総合学府長」、所属長または代表者の印は「公印」を使用すること。(氏名、所属先、在職期間を明記：A4判縦 様式任意)
b	勤務実績証明書	実務経験期間について勤務先の所属長または代表者が証明したもの 宛名は「薬食生命科学総合学府長」、所属長または代表者の印は「公印」を使用すること。(氏名、所属先、在職期間を明記：A4判縦 様式任意)

※ a または b を提出してください。

※入学後も企業、研究機関等で勤務を継続する者は、当該勤務先との間で問題が生じないように留意してください。

※「公印」を所持していない等、使用できないやむを得ない理由がある場合は、**事前**に入試室に相談し、指示を受けてください。

8 選抜方法

[一次募集]

入学者の選抜は、学力検査 (英語 (TOEIC® L&R IPテスト))、基礎自然科学)、面接及び成績証明書の結果を総合し、選抜ごと (一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜) に行います。

※TOEIC® L&R IPテストの試験結果は本学府の入学試験にのみ有効であり、**TOEIC® L&R IPテストのスコアレポート (個人成績表) は受験生へは提供しません。**

[二次募集]

入学者の選抜は、口頭試問、TOEFL iBT®またはTOEIC® L&R 公開テストのスコア、出願書類を総合し、選抜ごと (一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜) に行います。

9 試験日程及び会場

(1) 試験日時

[一次募集]

月	日	時	間	科目等
2020年8月21日(金)		9:00~11:30	(150分)	英語 (TOEIC® L&R)
		13:00~14:30	(90分)	基礎自然科学
		15:00~		面接

※「英語 (TOEIC® L&R)」について

- ・本学大学院試験会場でTOEIC® Listening & Reading IPテストを行います。
- ・試験時間には、説明時間(約30分)を含みます。
- ・辞書等の持ち込みはできません。

※「基礎自然科学」について

- ・薬科学の学習に必要な基礎的関連科目(有機化学、分析化学、物理化学、生化学、分子細胞生物学、生理学)の範囲から出題された問題(計8問)のうち、3問を選択、解答してください。

※基礎自然科学及び面接は、外国人特別選抜においても日本語で出題し、日本語で解答していただきます。

[二次募集]

月	日	時	間	科目等
2021年3月	2日(火)	10:00~		口頭試問 (科学的な基礎学力を問う)

※外国人特別選抜においても日本語で出題し、日本語で解答していただきます。

(2) 試験会場

静岡県立大学 草薙キャンパス (※本冊子の12ページ参照)

10 合格発表

発表日時 表紙に記載のとおり

- (1) 合格者には、本人あてに郵便で通知します(電話等による照会には一切応じません。)
- (2) 合格者の受験番号は本学ホームページ(<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>)にも掲載します。ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします。

1.1 出願書類の請求及び出願上の留意事項

- (1) 4出願資格審査の(2)提出書類、7出願書類のうち「所定」のものは、本学ホームページ(入試情報)に掲載のPDFファイルを印刷したものが利用できます(<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>を参照)。または、入試室あて請求してください。

※ 郵便で出願書類付の募集要項を請求する場合は、次のようにしてください。

ア 封筒の裏側に住所・氏名を明記するとともに、表側には必ず「**大学院薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士前期課程 募集要項請求**」と朱書きし、返信用封筒を同封して入試室あて請求してください。

イ 返信用封筒は角形2号(縦 332mm×横 240mm)を使用し、受取人の住所・氏名・郵便番号を明記して、210円切手(速達の場合は 500円切手)を貼付してください。

- (2) 出願書類に不備のある場合は、受理しないことがあります。
- (3) 出願書類受理後の書類の変更は認めません。
- (4) 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。

- (5) 一度受理した出願書類及び入学検定料は返却しません。
- (6) 過去の入学試験問題については、学生部入試室（平日9:00～12:00、13:00～17:00）または本学図書館（草薙キャンパス）で閲覧することができます（一部の問題は、本学図書館でコピーすることができます。）。また、一次募集の基礎自然科学については、本学薬学研究院のホームページに掲載されています（<https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/>）。ただし、英語（TOEIC® L&R）は著作権の都合上本学で使用問題の保管ができないため、閲覧できません。

本学図書館の開館日時等の詳細は下記にて確認してください。

【図書館】 TEL：（054）264-5800（草薙キャンパス）
URL：https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/

- (7) 入学志願者で、身体に障害（障害の程度は学校教育法施行令第22条の3の規定に該当するもの）があり、受験上特別な配慮を要する者は、以下の日までに入試室へ必ず事前照会してください。
- ・一次募集 2020年6月11日（木）16:00まで
 - ・二次募集 2020年12月17日（木）16:00まで

12 その他

(1) 入学手続等について

合格者に対して、「入学手続要項」を送付します。概要は以下のとおりです。

ア 入学手続

(ア) 受付日【持参の場合】※郵送による受付日は入学手続要項送付時にお知らせします。

一次募集：2020年10月27日（火）

二次募集：2021年 3月14日（日）・15日（月）

(注) 一次募集の合格者のうち、希望者は二次募集の受付日に手続をすることができます。その場合は必ず入学手続要項送付時に指定する期日までに学生部入試室に申請をしてください。

(イ) 主な提出書類・納付金

a 宣誓書・保証書 b 住民票（静岡県内の者のみ） c 写真

d 入学料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2020年度入学者実績：静岡県内の者141,000円・静岡県外の者366,600円

※注1：「静岡県内の者」とは、入学手続を行う月の1日において、本人または本人の配偶者若しくは1親等の親族が引き続き1年以上静岡県に住所を有している者をいいます。住所を有していることの確認は住民票で行います。

※注2：2020年度中に入学料が改定された場合には、改定後の入学料が適用されることとなります。

e 保険料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2020年度入学者実績：2,470円

f その他諸経費 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2020年度入学者実績

本学出身者※注	他大学出身者
6,000円	71,000円

※注：本学出身者であっても、卒業した学部や、志望する専攻によっては、他大学出身者と同じ金額になる場合があります。

イ 授業料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2020年度入学者実績

前期授業料 (入学時に納付)	267,900 円
後期授業料 (10月に納付)	267,900 円
合 計 (授業料年額)	535,800 円

注：年額一括納付はできません。また、2020年度中または入学時に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新たな授業料額が適用されます。

(2) その他参考事項

ア 日本学生支援機構 (旧日本育英会) 奨学金について

一次募集合格者は、合格通知書送付の際に貸与希望を確認します。二次募集合格者は、合格通知書に同封する「入学手続要項」にてご確認ください。

イ 授業料等の減免について

この制度の詳細については、「入学手続要項」にてご確認ください。

また、災害被災者の場合は、申請により授業料以外に入学料も免除されることがあります。

注：日本学生支援機構奨学金及び授業料等の減免の詳細については、学生部学生室に照会してください (TEL (054)264-5009)。

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府 薬科学専攻

講座	主な研究分野と研究題目
薬化学講座 教授 眞鍋 敬 准教授	研究分野：有機化学、化学反応論、触媒的合成化学 <input type="checkbox"/> 高性能触媒の開発研究 <input type="checkbox"/> 安全・簡便な分子変換法の研究 <input type="checkbox"/> 新規機能性物質・生物活性物質の創製研究 <input type="checkbox"/> 化学反応機構の解明に関する研究
生体機能分子分析学講座 教授 轟木堅一郎 准教授 水野 初	研究分野：生体機能分子の高感度分析化学的研究 <input type="checkbox"/> 次世代バイオ医薬品の新規分析法開発 <input type="checkbox"/> オミクス解析のための新規分析ツールの開発 <input type="checkbox"/> 超微量成分の高感度・高精度分析法の開発 <input type="checkbox"/> 単一細胞メタボロミクスの開発
生化学講座 *1 教授 鈴木 隆 *2 准教授 高橋忠伸	研究分野：生体分子認識と糖鎖機能解析 <input type="checkbox"/> 生体における複合糖質および関連分子の機能解明 <input type="checkbox"/> ウイルス感染増殖における複合糖質の機能解明と抗ウイルス剤の開発 <input type="checkbox"/> 脳における糖鎖の機能解明 <input type="checkbox"/> 細胞表面糖鎖分子の発現制御に関する研究
衛生分子毒性学講座 教授 吉成浩一 准教授	研究分野：化学物質の代謝と毒性／安全性に関する研究 <input type="checkbox"/> 化学物質による遺伝子発現変動（生体応答）機構の解明 <input type="checkbox"/> 化学物質応答性核内受容体の生理学的役割および毒性発現への寄与の解明 <input type="checkbox"/> 肝障害の発現機序解明と予防・治療法の開発 <input type="checkbox"/> 化学物質の安全性評価系（動物実験代替法）の開発
生薬学講座 *1 教授 渡辺賢二 准教授	研究分野：天然物化学、生物有機化学、細胞分子生物学、生合成 <input type="checkbox"/> 細胞工学的手法を用いた有用物質生産と生合成研究 <input type="checkbox"/> 二次代謝産物の生合成研究 <input type="checkbox"/> コレステロール生合成に関与する酵素の生物有機化学 <input type="checkbox"/> 生物試験法を指標とする天然物の探索
免疫微生物学講座 *1 教授 梅本英司 准教授	研究分野：生体環境を重視した免疫学 <input type="checkbox"/> 粘膜組織における自然免疫系の機能解析 <input type="checkbox"/> 免疫細胞に作用する代謝分子とその受容体の機能解明 <input type="checkbox"/> 腸内細菌や食物が免疫系に及ぼす影響の解析 <input type="checkbox"/> 病原性微生物に対する感染防御機構の解明
生命物理化学講座 教授 橋本 博 准教授 石川吉伸	研究分野：タンパク質やその複合体である生体超分子の構造生物学と理論的分子設計 <input type="checkbox"/> X線結晶構造解析による疾患関連タンパク質などの構造機能解析と創薬基盤研究 <input type="checkbox"/> DNA 損傷トランスに関わるタンパク質の構造生命科学 <input type="checkbox"/> タンパク質の立体構造情報とコンピュータの支援による医薬品分子の設計と創製 <input type="checkbox"/> 染色体の構造形成に関わるタンパク質の X 線結晶構造解析と機能相関研究
統合生理学講座 教授 武田厚司 *2 准教授	研究分野：脳科学を基盤とする健康長寿 <input type="checkbox"/> 亜鉛シグナリングから視た学習・記憶の制御 <input type="checkbox"/> アルツハイマー病の病態解析とその予防 <input type="checkbox"/> パーキンソン病の病態解析とその予防 <input type="checkbox"/> 加齢およびストレスによる脳機能変化とその改善
医薬品製造化学講座 教授 菅 敏幸 准教授 吉村文彦	研究分野：医薬品の開発を目指した有機合成化学 <input type="checkbox"/> 医薬品として期待される生理活性を有する天然有機化合物の全合成 <input type="checkbox"/> 食品有効成分のケミカルバイオロジーを指向した合成 <input type="checkbox"/> 生体機能解明を目指したプローブ分子の簡便かつ汎用性の高い合成 <input type="checkbox"/> ヘテロ環化合物の新規合成方法論の開発
創剤工学講座 教授 近藤 啓 准教授 金沢貴憲	研究分野：製剤設計、製剤工学、薬物送達システム開発、製剤物性評価研究 <input type="checkbox"/> 放出制御製剤の開発 <input type="checkbox"/> 粒子設計と製造プロセスの検討 <input type="checkbox"/> 新規 DDS キャリアの開発と有用性評価 <input type="checkbox"/> レオロジー解析に基づく製剤設計と製剤物性評価の確立
医薬生命化学講座 *1 教授 浅井知浩 准教授	研究分野：薬物送達学、生物化学 <input type="checkbox"/> リボソーム DDS に関する基礎研究 <input type="checkbox"/> 核酸医薬開発におけるナノ DDS 研究 <input type="checkbox"/> がんの診断・治療への応用を目指したナノ DDS 研究 <input type="checkbox"/> 高機能化ナノ粒子の設計と研究開発

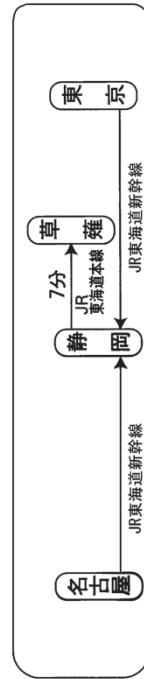
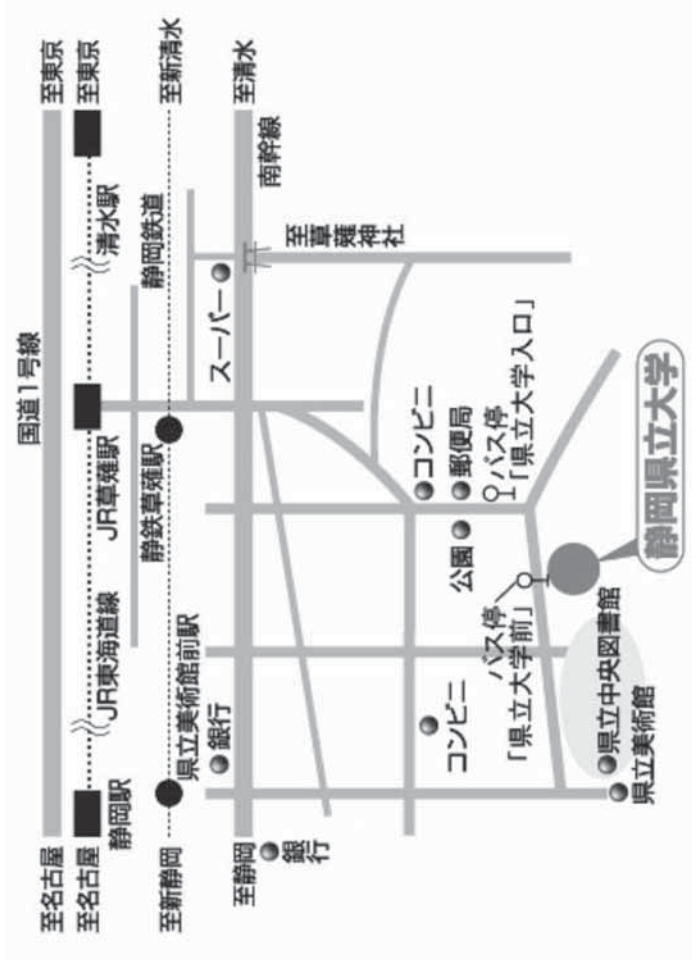
<p>医薬品創製化学講座</p> <p>教授 濱島義隆 准教授</p>	<p>研究分野：有機合成化学、不斉合成、触媒化学、創薬化学、生体関連化学</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 不斉有機分子触媒の設計と医薬品精密合成に関する研究 □ 有機フッ素化学に関する基礎および応用研究 □ 光エネルギーを駆動力とする新規分子変換反応に関する研究 □ 生体関連機能性分子に関する研究
<p>創薬探索センター</p> <p>教授 浅井章良 准教授 澤田潤一</p>	<p>研究分野：医薬品候補化合物の探索、評価、作用機序解析</p> <ul style="list-style-type: none"> □ シグナル伝達や腫瘍免疫に着目した創薬スクリーニングシステムの開発 □ 新規抗がん剤の創製を目的としたリード探索と構造最適化研究 □ 医薬候補物質の作用機序解析とバイオマーカー探索 □ 低分子化合物を用いた細胞内ネットワークの解析と制御
<p>臨床薬剤学講座</p> <p>教授 賀川義之 准教授 宮寄靖則</p>	<p>研究分野：Personalized therapy 実践のための臨床的・基礎的研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 抗がん薬の体内動態や臨床効果に影響を及ぼす要因の探索 □ 認知症治療薬の臨床効果を最大限に発揮するための臨床薬物動態研究 □ 製剤の分子製剤学的評価に基づく新規 DDS および院内製剤の開発 □ 経皮吸収製剤の開発と評価
<p>生体情報分子解析学講座</p> <p>教授 黒川洵子 准教授 坂本多穂</p>	<p>研究分野：生体・病態情報に関わる分子薬理学的研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 疾患の発症および薬物反応の性差の基盤となる細胞シグナルの探索的研究 □ ヒト iPS 細胞由来分化細胞の創薬応用 □ 不整脈発症におけるイオンチャネル分子複合体の役割に関する研究 □ サルコペニアおよび生活習慣病の発症機序に関する研究
<p>分子病態学講座</p> <p>教授 森本達也 准教授</p>	<p>研究分野：循環器疾患の発症メカニズムの解明と治療法の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 心不全発症における心筋細胞核内情報伝達機構に関する研究 □ 天然成分クルクミンおよびその誘導体・関連物質を用いた心不全治療に関する研究 □ 天然物による生活習慣病改善効果に関する展開医療研究 □ 心血管系疾患のバイオマーカー探索に関する研究
<p>薬剤学講座 *1</p> <p>教授 尾上誠良 准教授</p>	<p>研究分野：創薬および最適な薬物療法の実現を目指した薬物動態制御研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 薬物の体内動態、薬効・副作用の解析による効率的創薬・創剤 □ 生理活性ペプチドの医薬応用を指向した DDS 開発と動態解析 □ 薬物動態情報と薬剤物性に基づく安全性予測法の開発 □ 機能性食品の動態制御研究ならびに薬物との相互作用解析
<p>薬理学講座</p> <p>教授 石川智久 准教授 木村俊秀</p>	<p>研究分野：糖尿病およびその関連疾患の病態解明、治療法開発をめざした薬理学的研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ インスリン分泌とβ細胞量の調節に関与する細胞内情報伝達機構の解析 □ 肝星細胞の活性化と収縮の制御に関わる細胞内情報伝達機構の解析 □ 糖尿病及び肝線維症発症に関与する細胞内情報伝達機構の解析と疾病予防への応用 □ 天然生理活性物質を応用した糖尿病及び肝線維症の治療法開発を指向した基礎研究
<p>臨床薬効解析学講座</p> <p>教授 伊藤邦彦 准教授 井上和幸</p>	<p>研究分野：遺伝子情報に基づく薬物療法の個別化・適正化および創薬に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 薬効や副作用に関連する遺伝子マーカーの解析と薬物療法個別化への応用 □ 疾患の予防や薬物治療に有用なバイオマーカーに関する研究 □ がん、感染症、自己免疫疾患の診断や治療に有用なヒト型抗体の作製と臨床応用 □ 抗体のエピトープ解析に基づく分子標的治療薬の開発
<p>医薬品情報解析学講座</p> <p>教授 山田 浩 *3 准教授</p>	<p>研究分野：治験・医薬品開発に関連し、EBM・疫学・生物統計学に基づいた臨床研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ EBM と生物統計学に基づいた臨床研究評価・解析法に関する研究 □ 医薬品および食品の有効性・安全性情報の評価・解析に関する研究 □ 創薬候補化合物の有用性を検証するための研究 □ 臨床試験実施体制のインフラストラクチャー整備に関する研究
<p>実践薬学講座</p> <p>教授 並木徳之 *2 准教授 内田信也</p>	<p>研究分野：患者ベネフィットを追及した臨床製剤評価と薬物動態・薬物作用解析に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 菓子様製剤、口腔内崩壊錠、プレミクスト注射剤の製剤化と臨床評価 □ 医療費原価分析に基づく実用化製剤の開発とジェネリック医薬品の臨床評価 □ 医薬品の個別適正使用を目指した薬物動態・薬物作用解析研究 □ 遺伝子多型や薬物相互作用が薬物動態や臨床効果・副作用に及ぼす影響に関する研究

*1 博士後期課程は、薬食生命科学専攻に配置しています。

*2 2021年3月に定年退職予定

*3 2022年3月に定年退職予定

試験会場案内 静岡県立大学<草薙キャンパス>

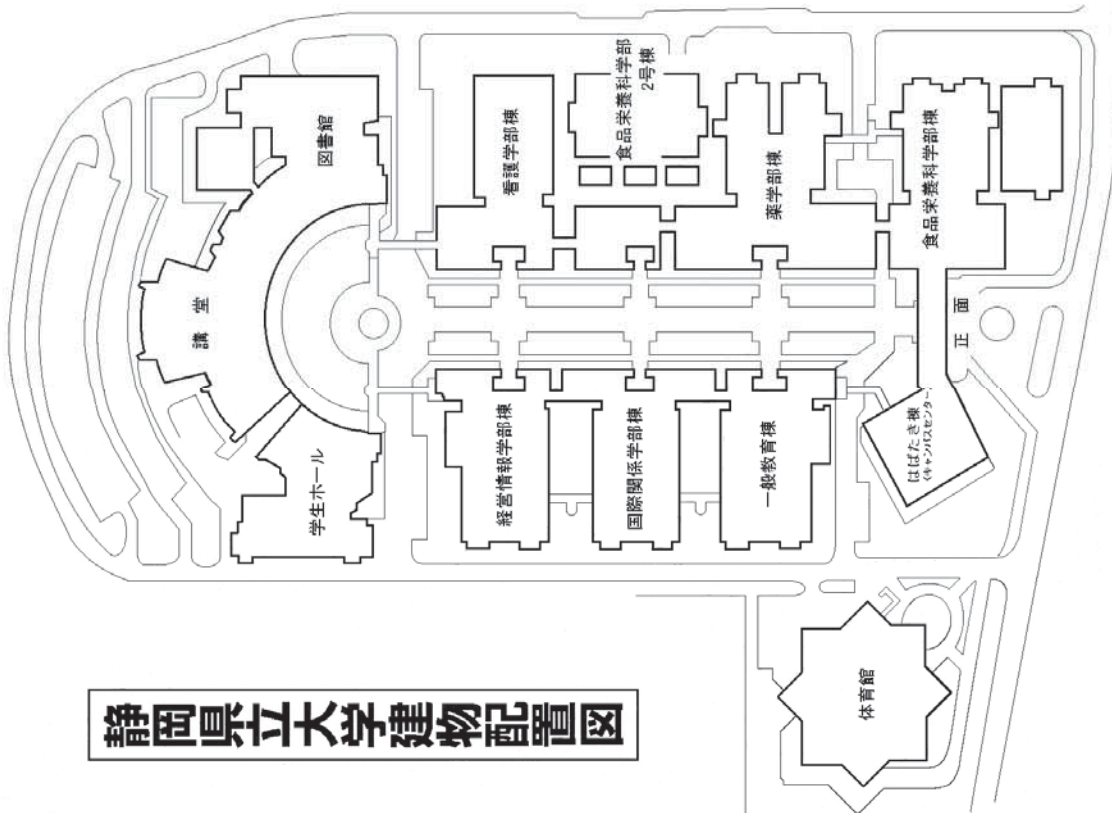


● 徒歩 (Walking)
● 6分 (6 minutes)
● 7分 (7 minutes)
● 15分 (15 minutes)

JR東海道線草薙駅または静岡駅・県立美術館前駅下車徒歩15分
JR東海道線静岡駅より徒歩15分
※本日は、自動車の乗り入れ禁止。自転車は可。
構内への自動車、バイクの乗り入れ禁止。自転車は可。

静岡県立大学
静岡市駿河区谷田552-1
☎ (054) 264-3007

静岡県立大学建物配置図



《入学者選抜試験に関する問い合わせ》

静岡県立大学学生部入試室（平日9:00～12:00、13:00～17:00）

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

TEL：(054)264-5007 FAX：(054)264-5199

E-MAIL：nyus@u-shizuoka-ken.ac.jp

大学ホームページ：<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

薬学研究院ホームページ：<https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/>